

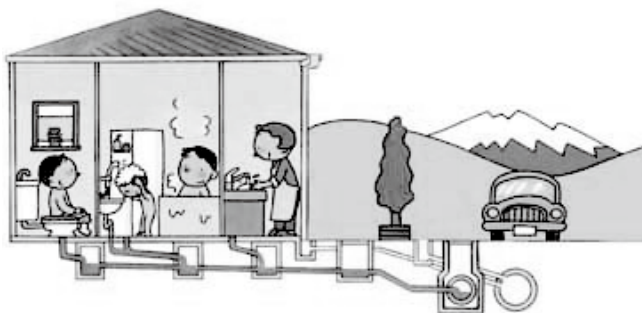
第1回と第2回で、庄原市の上下水道の現在の財政状況をお知らせし、前回は今後の上水道の展望と経営改善の取り組みについてお知らせしました。

今回は、今後の下水道の展望と経営改善の取り組みについてお知らせします。

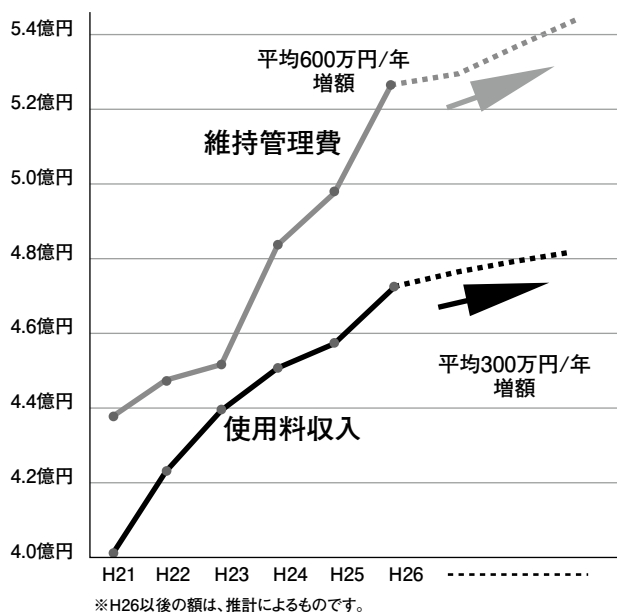
財政状況から見る今後の展望

下水道事業では、下水道などへの新規の接続が続いているため、使用料収入は増加していますが、光熱水費や薬品費、修繕費などの維持管理費が使用料収入を上回っており、不足分を一般会計から繰り入れている状況です。

公共下水道と農業集落排水の整備事業がほぼ終了しているため、今後、使用料収入の大幅な増加は見込めないことから、一般会計からの繰入金はさらに増えていくものと予想されます。



■下水道事業の使用料収入と維持管理費の推移



経営改善の取り組み ～安定した下水道事業サービスのために～

【下水道事業の取り組み】

下水道事業は、公共下水道事業・農業集落排水事業の排水管などの整備事業が平成26年度でほぼ終了し、現在は、安定的な生活環境と水質保全の維持に努めるために、浄化センターなどの施設の長寿命化に取り組んでいます。

施設維持管理費と更新経費の縮減を目指します

供用開始の最も早い下水関係施設は、公共下水道事業では平成6年10月、農業集落排水事業では平成7年4月と共に20年を経過しています。このため、供用開始の早い施設から順次、施設点検を行った上で長寿命化計画を策定し、計画的に機械・電気設備を更新することで増加傾向にある修繕費を抑え、施設の更新期間を延長することで更新経費の抑制を図る事業に取り組んでいます。

前回ご紹介した上水道の経営改善の取り組みと、今回ご紹介した上記取り組みを進めながら、庄原市の上下水道の企業経営を適正に維持していくために、経営状況を的確に把握し、各事業のビジョンや計画に基づいたさらなる取り組みの検討を継続して実施し、安定した上下水道事業サービスが提供できるよう努めていきます。